

平成30年8月31日

岩見沢市議会

議長 井 幡 修 一 様

会 派 名 日本共産党議員団

代表者名 上 田 久 司

政 務 活 動 報 告 書

政務活動の使途項目	研修費
日 程	平成30年7月20日（金）～7月23日（月）
視察先・視察項目 （研修先・研修項目）	研修会場：福岡県 福岡市民会館、西南学院大学 研修項目：第60回自治体学校 in 福岡 （主催：第60回自治体学校実行委員会）
議 員 名	上田久司、山田靖廣
調 査 概 要	詳細は別紙のとおり

福岡県福岡市・7月20日（金）～23日（月）

● **研修名** : 第60回自治体学校 in 福岡

会 場：福岡市民会館、西南学院大学

主 催：第60回自治体学校実行委員会

後 援：福岡県／福岡県市長会／福岡県町村会／福岡県市議会議長会
／福岡県町村議会議長会ほか

● **報告者**

山田 靖廣

● **報 告**

研修内容

- ・ 1 日目 7月21日(土) 12:30～17:00 全体会
記念シンポジウム 地域・暮らしに憲法をいかす
第1部 リレートーク 憲法は生きていますかーそれぞれの現場からー
第2部 特別対談 地域・暮らしに憲法をいかす自治体づくり
太田昇氏（岡山県真庭市長）、石川捷治氏（九州大学名誉教授）
- ・ 2 日目 7月22日(日) 9:30～16:00 分科会・講座
- ・ 3 日目 7月23日(月) 9:30～11:45 全体会
特別講演「暮らしの現場で国民主権をまもろう」
馬奈木昭雄氏（久留米第一法律事務所弁護士）

7月21日は全体集会を開催し、記念シンポジウムとして、第1部では「地域・暮らしに憲法を生かす」をテーマに、リレートーク「憲法は生きていますか」を各現場から4人が報告しました。

- ①学校給食から見た子どもの貧困
- ②生活保護を本当の権利にするために
- ③「沖縄の今」平和・環境・人権 ー憲法と自治の生きる島を目指して
- ④引き揚げ（福岡港）の歴史を通して平和を考える

第2部として、特別対談「地域・暮らしに憲法をいかす自治体づくり」対談は太田昇氏（岡山県真庭市長）と石川捷治氏（九州大学名誉教授）。概要は、9町が合併した苦労や、自治体職員の住民が主人公との考え方、山間地帯が80%を占める特殊な地域の中で木材の植林整備、活用を図ることや、少子化や高齢化を逆転の発想で、多彩な地域性&多様な地域資源&住民の個性・思いを、行政による条件整備、サポートに徹底し、「真庭スタイル」と言われる地域の生き方を紹介されました。（若者から市職員への採用試験の応募が多い現状）

7月22日は12講座が開催され、上田議員が参加した分科会1「2018 介護保険制度改定で、高齢者のくらしはどうなる？」講座では、大東市や埼玉県の自治体での住民アンケート、福岡市の福祉総合事業の実態などが報告され、高齢者をめぐる環境や経済的負担が、命、暮らしを脅かしている現状などが討議されました。

山田議員は分科会3「子どもの育ちと自治体政策」に参加。「大阪の子供の貧困の実情と自治体政策」では食に関係する報告がされ、家庭で食事がまともに取れていない驚くべき実態があり、学校給食や子ども食堂の取り組み、フードバンクの運動などが取り組まれ、どの子どもも差がなく成長できる地域を形成しようとの運動が民間を中心に進んできましたが、子どもの医療費助成では高校生まで拡大されている自治体もありますが、自治体間での差が生じていますので、今後は国を中心にしながら都道府県の役割などについても討議がされました。

7月23日は特別講演・馬奈木昭雄弁護士による「くらしの現場で国民主権をまもろう」として、弁護士活動・裁判を通じての事例をあげながら国民に主権があることを報告されました。（水俣裁判・じん肺訴訟・有明訴訟など担当）